

# 高山帯に生育する珍しいクリスマスローズ ヘレボルス・チベタヌス、間もなく見頃です！

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:藤原崇起)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治)が運営する六甲高山植物園では、昨年11月に日本チベタヌス協会(事務局:長野市 会長:出口三郎)から寄贈を受けたヘレボルス・チベタヌスが見ごろを迎えました。

ヘレボルス・チベタヌスは、中国・四川省の高山帯に生育する珍しいクリスマスローズで、当園では、西日本で唯一、ヘレボルス・チベタヌスの群落を観賞することが出来ます。また、3月17日(金)の午後及び、六甲高山植物園の2017年のシーズンオープンである3月18日(土)には、日本チベタヌス協会の出口会長が、生育状況の確認と、追加の開花株及び、中国・四川省の自生地の紹介パネルの展示のためご来園される予定です。



## ◆ヘレボルス・チベタヌス(キンポウゲ科)

落葉性のクリスマスローズで、春に花がうつむいて咲き、初夏に種を落とすと夏には地上部が枯れ、休眠期に入ります。地中海沿岸を中心とした地域に分布する約20種類のヘレボルス原種の分布域から遠く離れた中国四川省に、隔離分布する珍しい種類で、高さは30~50cm。花は始め紅色をおびていますが後に緑色に変色します。パンダやハンカチノキを発見したプラントハンターのアルマン・ダヴィッド神父が1869年に中国の四川省付近で採取しており、当時その近辺をチベットと呼んでいたことから、学名に「チベタヌス」と入っています。

## ◆日本チベタヌス協会

平成25年結成。現在全国に31名の会員を抱える団体で、ヘレボルス・チベタヌスの自生地である四川省の開発に危機感を抱いたメンバーによって、分布調査と種子採取を行っています。また、日本国内での播種繁殖と選抜・保存園づくりも主たる活動の一つで、長野県をはじめ東日本を中心に苗の寄贈や植栽を行っています。会長の出口氏は神戸のご出身で、自身の郷里である神戸で西日本の拠点となるヘレボルス・チベタヌスの保存園となる場所を探していたところ、気候条件が適している当園に行きつきました。

## ◆リリースに関するお問い合わせ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137/〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

## ◆営業概要(2017年)

【開園期間】3月18日(土)~11月23日(木・祝) ※9月7日(木)は休園

【開園時間】10:00~17:00(16:30 受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)620円 / 小人(4歳~小学生)310円 / シニア割引(65歳以上)520円